

# 図書館だより

2021.11月号

「読みたい本がきっと見つかる！」農芸図書館 発行 2021.11.1

## ISO環境教育・環境月間



## 今日は何の日？迷ったらまずこの1冊を

11/1 点字の日

目が見えなくても本が読みたい。文字を読んだり書いたりしたい。盲目の少年ルイ・ブライユが暗号から指でさわって読む文字を発明するまでの物語。



11/17 将棋の日

26歳までにプロになれなければ退会。苛烈な競争が繰り広げられる棋士の養成機関・奨励会。追い詰められた男が将棋人生を賭けたアリバイ作りに挑む。



11/10 トイレの日

小さい用1分、大きい用5分で読める。トイレにまつわる短編集。恋の話に下品な話、殺人事件だって起こるかも？読みふけて流し忘れちゃったなんてことのないようご注意ください！

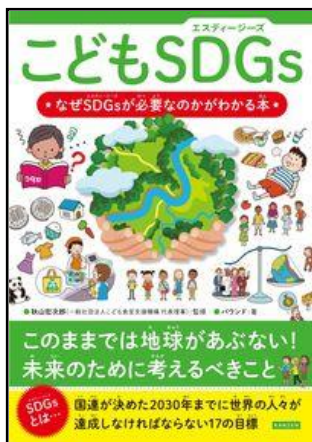
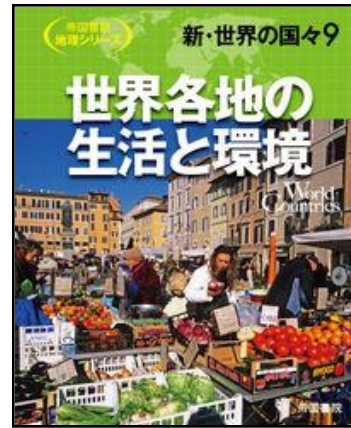


11/26 いい風呂の日

韓国で話題沸騰！注目作家の絵本。なつかしくて、ちょっとふしぎな世界。ふるーい銭湯にかようドッチ。だいきなみずぶろで出会ったのは？



## ひとりの100歩よりも100人の1歩



11/12 洋服記念日

32歳の若さで夫に先立たれた麻緒。自らも死ぬ準備をするうち刺繍洋品店で小さなポスターを見つける。洋裁を通じてバラバラだった心を手練り寄せた先に待つものは？



11/27 ノーベル賞制定記念日

ノーベル賞はむずかしくてよくわからない？！そんな人には笑える科学「イグノーベル賞」をおすすめします！なぜバナナの皮を踏むと滑るのか？科学に馴染みのない人も楽しめます！



# NEW TITLE

農芸高校図書館 2021.11.1 発行 図書館窓開放中！急な冷え込み、体調管理ご注意ください。

## 群衆心理

すべては正義感から始まった。敏腕の刑事弁護人口ベスピエール。貧しいがゆえに盗みに手を染めた者。無実の罪を着せられても抗弁できない弱者。見事な弁舌で数多くの被告人を救い”貧者の弁護人”として評判を得ていた。社会の矛盾を正すため弱者、貧者を救うため、熱狂する人の群れを操る彼が革命の末に見た風景はどのようなものだったか？



## オーラの発表会

「人を好きになる気持ちが分からない」海松子(みるこ)大学一年生。他人に興味を抱いたり、気持ちを推しはかたりするのが苦手。趣味は風揚げ。特技はまわりの人に脳内で(ちょっと失礼な)あだ名をつけること。なのに、幼馴染の同い年男子と、男前の社会人から、気づけばアプローチを受けていて……。



## 小説8050

従順な妻と優秀な娘にめぐまれ完璧な人生を送っているように見える正樹には秘密がある。有名中学に合格し、医師を目指していたはずの息子が7年間も引きこもったままなのだ。夜中に家中を徘徊する黒い影。次は窓ガラスでなく自分が壊される。このままでは我が子を手にかけ自分も死ぬしかない――。



## ジンジャースイーツ

冷え性改善、腸活、免疫力UP。生姜にはうれしい効能がいっぱい。クリスマスのお菓子で有名なジンジャーマンクッキー。ほんのりピリリ中からポカポカ。



## 『ただの空気』が吸えなくなりました。

これはある日突然、自分の身にも降りかかることかもしれない?! 健康な若者が会社の席替えがきっかけで、原因不明の咳と、のどの痛みにさいなまれるようになりー!? 化学物質過敏症になり、すべての日常が奪われたOLの実録闘病記!



## 目の見えない白鳥さんと

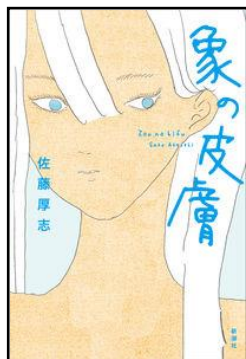
### アートを見にいこう

「白鳥さんと作品を見るとほんとに楽しいよ!」という友人マイティの一言で「全盲の美術鑑賞者」とアートを巡るというユニークな旅が始まった。見えない人と見るからこそ見えてくる!



## 象の皮膚

五十嵐凜、書店員6年目。アトピーの痒みにも、やっかいな客にも負けず、今日も私は心を自動販売機にして働く。肌を見られたくない、でもこの苦しみを知ってもらうことは、自分を知ってもらうことだった。非正規雇用、学校のいじめ、カスタマーハラスメント、そして東日本大震災…。痒みに支配された女性書店員の生きづらい日常を圧倒的リアリティで描いた小説。



## こんな世の中で生きていくしかないなら

諦める、割り切る、逃げる、戦わない。そして、期待しないこと。僕はこの5つの「武器」を、身につけた。自分を好きになるなんて難しい。できることは自分を甘やかしてあげること。息苦しさを感ずる心がふっと軽くなるりゆうちえる初の著書。



## 朔が満ちる

かつて中学1年の僕は、酒を飲むたびに荒れる父親に手を焼き、遂に斧で殴りかかって殺そうとしたことがある。心に傷を負ったまま家族とも離れ、悪夢のような記憶とともに生きていく史也。荒んだ生活の中で、看護師の千尋との出会いから、徐々に自身の過去に向き合おうとする――これは「決別」と「再生」の物語。

